



2 学年だより

vol.2 R4(2022) /04/28



新潟県立柏崎常盤高等学校

新年度がスタートして約3週間が過ぎました

新しいクラスは、始業式当日は、少々緊張した雰囲気でしたが、日を追うごとに、少しずつそれがほぐれていっているようです。翌週の火曜日からは、（新型コロナウイルスの陽性者が複数の学年で出たということで、）4日間休校になりました。年度初めのとても重要な時期ではありましたが、やむを得ないことだったと思います。そこで、今一度、感染拡大防止のための普段の取り組みをお願いいたします。校内で発生し、休校となると授業はもちろん、部活動の活動もできなくなります。大会への参加もできなくなってしまいます。一人一人の心がけが重要です。お願いいたします。



大型連休が始まります

- ①充実した休みをとりましょう。 ②悩んでいること、心配なことがあれば相談をしてください。
- ③事件・事故に巻き込まれないようにしましょう。 ④毎日、学習時間を確保しましょう。

中間考査は、約2週間後の5月13日（金）からです。大型連休が終われば、あっという間に考査です。（曜日の関係で、今年は早いです）

大人になりたいですか？

先日、1年生の「公共」という科目の授業で、「大人になりたいですか?」、「大人になりたくないですか?」を「その理由」とともに尋ねました。51:64で、「大人になりたくない」の方が多かったです。理由としては、「1人では何もできないから」、「義務が増えるから」、「責任を負いたくないから」などでした。

なりたいという方の理由としては、「自由になれるから」、「自分で色々決められるから」、「一人暮らしをしたいから」、「働いて得たお金を自由に使えるから」、「自由が増えるから」などでした（5~6人くらいのグループで、それぞれのグループでベストアンサーを挙げてもらいました）。親戚のおじさん、おばさんなどからは、「高校生かあ、いいなあ」と言われることが多いでしょうと話しましたが、1年生は「大人になりたくない」と思っている人が全体の約56%いるという結果になりました。



クラス掲示用

令和4年度5月行事予定表

県立柏崎常盤高等学校 教務

日	曜	一般的行事	生徒会・部活動等行事	パン販売 11:55~	日	教	総	H	行	計
1	日			/						0
2	月		ソフトテニス春季地区(上越)	○	1	6				6
3	火	憲法記念日	写真撮影会(十日町)	/						0
4	水	みどりの日	バドミントン春季地区(柏崎)	/						0
5	木	こどもの日		/						0
6	金		陸上春季地区(長岡)	○	1	①5 ②3 ③6	①1			6
7	土			/						0
8	日		卓球春季地区(上越)	/						0
9	月	T456		○	1	6				6
10	火			/	1	6				6
11	水	二次検尿		○	1	5		1		6
12	木	中間考査 ③(考査+授業) ①②通常授業 ③内科検診		/	1	6				6
13	金	③考査 ②授業+考査 ①通常授業	なぎなた専門部委員会・顧問会議(本校)	/	1	③4 ① ②6				③4 ① ②6
14	土			/						0
15	日	学校閉鎖		/						0
16	月	③保護者進路説明会		/	1	4				4
17	火			/	1	3		1		4
18	水			○	1	5		1		6
19	木	①内科検診		/	1	6				6
20	金	①夏服引き渡し(15:45~会議室)		○	1	①5 ②3 ③6	①1			6
21	土			/						0
22	日			/						0
23	月	月曜授業 T123		○	1	6				6
24	火	清掃なし		/	1	6				6
25	水			○	1	5		1		6
26	木	②内科検診 T123	卓球県総体(長岡) 陸上県総体(新潟)	/	1	6				6
27	金	③進研マーク T②	バレーボール県総体 ソフトテニス女子県総体(新潟) バスケットボール女子県総体(柏崎) バドミントン男子県総体(五)	○	1	6				6
28	土			/						0
29	日			/						0
30	月			○	1	6				6
31	火			/	1	6				6

人権教育、同和教育に関するアンケート(連休あけ) いじめに関するアンケート PTA総会(書面審議)

「点数を稼ぐ」勉強はできても何も知らない私は、今、勉強がしたい

2022.4.13

出典 かがみよかがみ

大人になって、昔よりも学びたい気持ちが強くなった。

子供のころ、大人が皆、口を揃えて言っていたこと。

「今のうちにたくさん勉強しておきなさい。大人になったら、学びたくても簡単には学べないから」

その意味を実感するステージに、今まさに自分が立っていることに気が付いた。

学生時代はいわゆる優等生で、「頭良い子」というポジションだった

大人になって仕事を始めて、色々な人と関わりを持ち、話をしていると、「自分ってなんにも知らないんだなあ」と感じる事がよくある。

学生時代の私はいわゆる優等生で、勉強もよくしたし、学校の成績もよかった。

同級生の中では「頭良い子」ポジションだったし、担任の先生にとっても反抗せずに勉強して、テストで点を取ってくるから「手のかからない生徒」ポジションだったと思う。

勉強はすごく嫌いではなかったけど、別に好きでもなかった。成績が悪いと進級とか進学とかに困るのが嫌だったし、なんとなく「頭悪い」ポジションに自分がいくのは嫌だったから、試験前だけはきっちり勉強してそれなりの点数を取っていた。

でも、それは決して自分の肥やしにするための勉強ではなくて、あくまでも「点数を稼ぐため」の勉強。

だから、あんなに勉強した歴史も英語も、今はもうほとんど覚えていない。

勉強中です



点数を取るためではなくて、知識や知恵を自分のために学びたいけど

ニュースを見てても世界情勢はよく分からないし政治の話なんてさっぱりだし、電車や街中で外国人に声を掛けられてもろくに受け答えも出来ない。

私と真逆にそれが出来る人をみると「大人だなあ、カッコイいなあ」と思う反面、なんだかすごく自分が情けなくて恥ずかしくなる。

あの時の「頭良い子」ポジションだった私、どこにいったんだろう？

いや違う。少し要領が良かっただけで、最初から「頭良い子」ではなかったのだ。

大人になって、自分の無力さや無能さを痛感して、もっと勉強したいと感じるようになった。

点数を取るためではなくて、きちんと知識や知恵を自分の中に落とし込むために学びたい。

でも、大人になるとそう簡単にはいかない。

義務教育じゃないから、タダでは学べない。

そのうえ、食っていくために働く時間も必要だ。

一日のうち5時間も6時間も勉強に費やすことは出来ない。

しぶしぶ机に向かっていたあの時間は、もう簡単には取り戻せないのだ。

「勉強することが仕事」だなんて、学生ってなんて恵まれていたんだろう。

あの時大人が皆して言っていた「大人になると簡単には学べない」は、こういうことだったのか……。

「知識とお金はいくらでも持っておけ」の意味が、社会に出て分かった

そういえば、幼い頃に父がよく言っていた。

「知識とお金だけはいくらでも持っておけ。いくらあっても邪魔にはならない」って。

父の言葉の意味が、自分も大人になって社会に出たことでようやく分かった。

父は若い頃はヤンチャだったようで、学生時代は勉強なんて絶対にしていないし、高学歴でもない。けど、幼い頃の記憶を辿ると、父はよく本屋に行っていたし、部屋にはたくさんの本があった気がする。

きっと大人になってから後悔したことや、なにか辛い経験があったんだろう。

「誕生日とクリスマス以外はお小遣いでやりくりしなさい」と言っていた母も、本だけは無条件に買ってくれた。当時の私は活字が苦手なで、本をねだることはほとんどなかったが、今考えるとすごくもったいないことをしたと思う。

もし今、勉強嫌いな若い子に会ったら私も父と同じセリフを口にするだろうし、もし今、神様が大金と長期の休みを私にしてくれるなら遊んでなんかいられない。

生きていくための勉強に時間もお金も費やすだろう。

大人になって本当に欲しくなったものは、学ぶお金と時間だった。

